

Clinical Art!
アートでしあわせのおもてなし
誌上 臨床美術館⑤

「玉ねぎをつくる」

実際に玉ねぎに触れ、大きさや模様、色を観察したり、皮を少し剥いてみたり、香りを匂ったりして、玉ねぎから感じたものを、立体に表現しました。



臨床美術(クリニカルアート)とは？

絵やオブジェなどを楽しみながらつくることによって脳を活性化させ、認知症の症状を改善するために開発されました。

《五感への刺激》と《リラックスできるコミュニケーション》によって「脳」が活性化。感性の目覚めや回復、心の解放はもちろん、生きる意欲や潜在能力を引き出す効果もあると言われています。

皆様の作品を
Instagramにて
公開しております

帯山中央病院
Instagram



「臨床美術」および「臨床美術士」は、日本における(株)芸術造形研究所の登録商標です。

医療法人 祐基会

帯山中央病院

熊本市中央区帯山4丁目5-18 TEL096-382-6111

広報委員: 廣野 里佳 横崎 涉 村上 誠 難波 崇聡 横山 公海
田中 香 山口 夏弥



Re+

Obiyama Central Hospital

●今号のHIKARIBITO

出会い、つながる縁を大事に やりたいことを楽しむ / 天野 沙知さん

●特集

消化器系の疾患はさまざま。症状が現れにくい病気もあるので健康診断が大事です

●教えてCaco先生

秋の「肌トラブル」に注意！

広報誌 Vol.11 2024年秋号

医療法人 祐基会

帯山中央病院

SDGsの観点から発送方法を変更いたしました。
「Re+」秋号、新鮮なうちにお読みいただければ幸いです。

Re⁺

【レタス】

地域に根ざした広報誌です。
 人との繋がりを大切にします。
 新鮮なうちにお読みください。



Re⁺は、人とのつながりを大切に、地域密着型の広報誌です。メールの返信の際に使われる“Re”に+（プラス）を加え“感謝の気持ちに少しでも何かプラスしてお返しする”そんなおもてなしの心を形にした情報誌です。法人内でも配布しておりますので、是非ご覧ください。

皆さまのご意見ご感想をお寄せください
 読者アンケートはこちらから



心を照らす あたためる HIKARIBITO ひかりびとさん

出会い、つながる縁を大事に やりたいことを楽しむ

天野似顔絵工房
 代表 天野 沙知さん
 Sachi Amano

マルシェや地域イベントなどでかわいい木製品などを販売したり、一緒に物作りを楽しむワークショップをしたり、デザイン制作業務とともに多彩な活動をしている天野沙知さん。今号は、「天野似顔絵工房」主宰の天野さんに話を聞きました。

デザイン制作業務とイベント出店

—どんな活動をしているのですか。

天野 基本的には平日は名刺やフライヤー制作などのデザイン関係の仕事と、曲げわっぱ弁当箱や木製のカトラリー、名入れタンブラーなどのネット販売を行っています。製品に似顔絵や名前を入れることもしています。また、イベントを企画するのも楽しくて、楽しくて。週末は、そうして企画したイベントや地域のお祭り、マルシェなどに出店し、販売とワークショップをしています。そこでさまざまな人たちと出会い、つながりができ、つながりの中から新たな仕事が生まれます。私は人とコミュニケーションするのが大好きで、ご縁を大切にしているので、イベントはとても楽しい場です。

「自分でやりたい」と退職・独立

—この仕事を始めたきっかけは？

天野 以前、看板制作や企画・デザインなどを業務とする会社に勤めていました。そこで、名前やメッセージを入れられる贈答品部門の立ち上げを担当しました。それがとても面白く、会社という枠の中ではなく、自分自身でやりたいと思うようになったのです。そこで社長に自分の気持ちを話して、退職・独立を相談したところ、「頑張ってみなさい」と言ってもらえ、1人で仕事を始めました。それが2020年のこと。2人目の子どもが0歳の時です。今年5月に3人目が生まれ、今は16歳、4歳、0歳の子どもと夫と一緒に住む家の一

室が私の仕事場です。

家族のサポートに感謝、夢は「自分の店」

—家事・育児との両立は大変では？

天野 同じマンションの別フロアに住む夫の両親や夫、私の実家などのサポートがあり、恵まれています。皆それぞれ働いているのですが、イベントなどのときには、誰かに一番下の子を預かってもらっています。食事も義母にお世話になることが多く、感謝しています。制作物などの仕事は夜の12時から3時くらいまで、家族が寝静まっている時間に集中してすることもあります。

—これからの夢や目標は？

天野 私の出身地である戸島で、同じ出身者や地元の人たちなどとイベントをしたいですね。大きな夢としては、いつか自分の店を持ち、その駐車場でマルシェを開くような活動をしたいなと思っています。



天野さんの活動はこちらから



@AMANOKOUBOU2020

話を聞いて...

同世代の天野さん。なりたいたい自分を見つけ挑戦し「もっともっと！」と考え行動し続けている姿に、私のモチベーションまで上がってきました。私もケアマネの試験に挑むことを諦めません。(タナカ)

消化器系の疾患はさまざま。 症状が現れにくい病気もあるので 健康診断が大事です

体調不良の中でも訴えが多い「おなかが痛い」「ムカムカする」などの症状。それらに対応するのが「消化器内科」です。今回は、消化器内科の概要や、そこで重要な役割を持つ検査についてお伝えします。

教えてくれるのは…

副院長
健康推進部部長
消化器内科

前田 誠士 まえだ せいし

医学博士

・日本消化器病学会専門医 ・日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
・日本肝臓学会専門医 ・日本内科学会 総合内科専門医



Q 消化器内科の特徴を教えてください

A 広い分野を担当、疾患も多様 必要な検査を行って診断・治療

消化器内科は、食道、胃、小腸、大腸という消化管系に加え、肝臓、膵臓、胆のうなど広い分野を担当します。それだけにさまざまな疾患があります。その診断のために、胃痛・腹痛や吐き気、嘔吐、下痢、便秘、胃もたれなど患者さんの症状を確認し、必要な場合は検査を行います。もし、そういう症状に悩んで当院を受診される際、食事を抜いて来院されると、すぐに検査ができる場合があります。

一方、肝臓や膵臓の疾患は自覚症状がない場合が多く、症状が出るのはかなり重症になってからです。それだけに健康診断を定期的に受け、自分の体の状態を確認することが大事です。特にがんの場合、全がんの約60%が消化器系のがんです。定期的な健診によって早期発見することが、早い回復やその後の人生の質を高める上でも重要です。

当院での検査の結果、外科的対応や高次医療が必要と判断した場合は、その患者さんに合った医療機関を紹介しています。



内視鏡検査の様子

前田先生ってこんな人

1987(昭和62)年 熊本大学第3内科入局。その後、現・天領病院(旧・三井総合病院)、水俣市立医療センター、国立大分病院。福岡大学放射線科に国内留学後、95(平成7)年熊大第3内科(2003(平成15)年に消化器内科に改称)。04(平成16)年に玉名地域保健医療センター。14(平成26)年から現職。



Q 内視鏡検査について教えてください

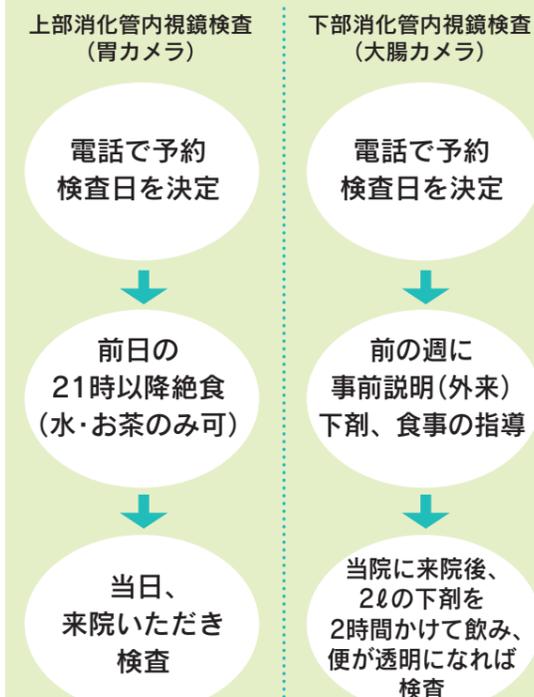
A 上部消化管(食道、胃、十二指腸)と大腸を検査 炎症やポリープ、がんなどの有無や程度を確認

内視鏡検査は、直接見ることができない体の中の様子を内視鏡を用いてモニターに映し出し、医師がその場で観察する検査です。一般に胃カメラといわれている上部消化管内視鏡検査は、口または鼻から内視鏡を入れ、食道、胃、十二指腸などの状態を見ます。大腸内視鏡検査は、大腸用の内視鏡を肛門から挿入し、大腸全域を確認します。内視鏡検査によって、炎症やポリープ、がんなどの病変の有無や程度を確認します。

基本的には麻酔を使用しますが、効き方には個人差があります。医師と相談し、できるだけ検査後の車の運転は避けましょう。

当院では上部消化管、下部消化管ともに検査できます。私は、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医の資格を持っておりますので、安心して検査を受けていただければと思います。

検査を受けるには



Q 健康推進部の部長としての取り組みや展望を

A 適切な健診で予防と早期発見に貢献したい

消化器内科の概要をお伝えした際に話したように、自覚症状がない疾患を早く見つけて治療につながることを大切に思っています。健康推進部では、適切な健診で予防と早期発見に努めています。

例えば「沈黙の臓器」といわれる肝臓では、10年くらい前まではウイルス性肝炎が多かったのですが、医学の進歩で減ってきました。一方で、メタボリックシンドローム(メタボ)による脂肪性の肝疾患が増えています。

メタボにはいろいろなリスクがありますが、自覚症状がないまま肝臓にも悪影響を及ぼしています。こういった方を減らすためにも、健診の大切さをさらに訴えていきたいと考えています。

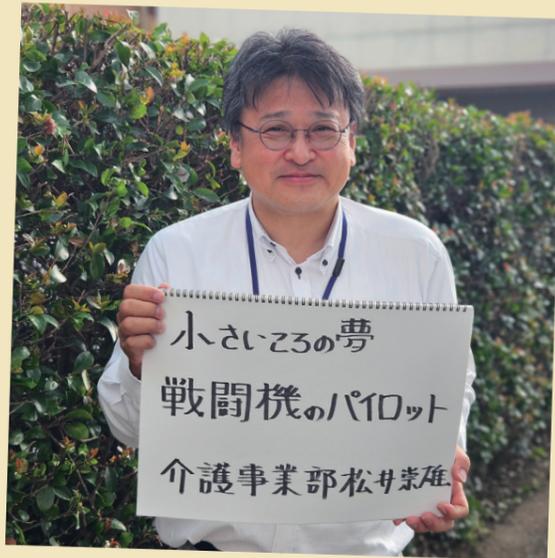
【消化器内科】診療日時のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前(9:00~12:00)	●(検査)	検査		検査	●(検査)	
午後(14:00~17:00)	●	●		●		

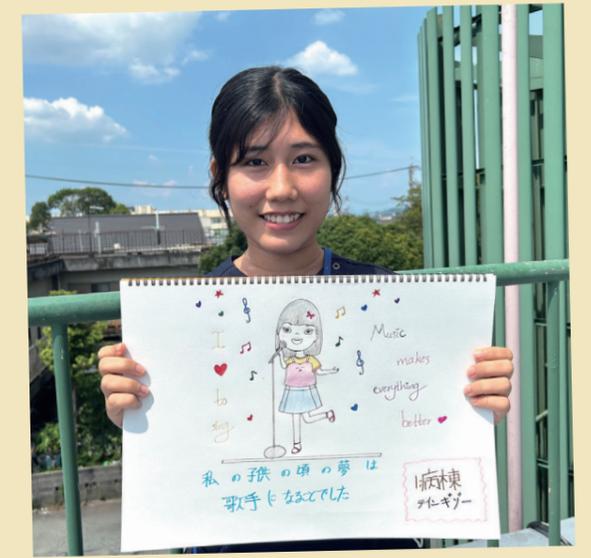
※月・火・木・金(午前)は内視鏡検査日です。あらかじめ外来診療を受けての検査となります。

お気軽にお問い合わせください

■受付・お問い合わせ 平日8:30~17:00 TEL 096-382-6111



介護事業部 松井崇雄さん



1病棟 テインギゾーさん



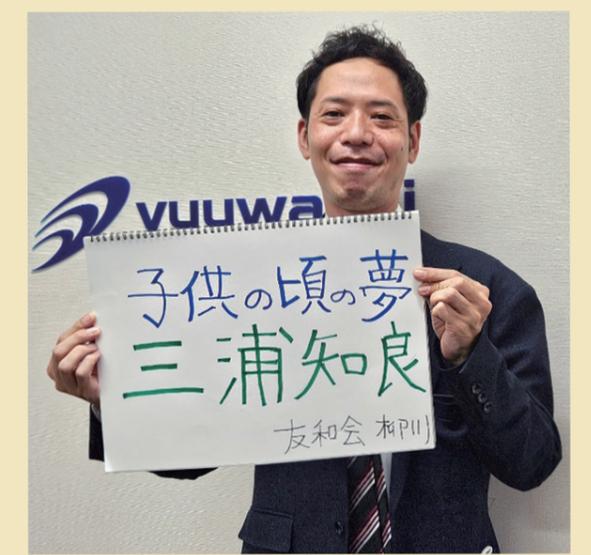
グループホーム六花苑 井瀬重さん



1病棟 イミャツサンダさん



手づくりパン・サンドイッチ 九一屋 深野悦代さん



友和会 柳川謙太さん



友和会 中野勝太さん



医事課 田中明日香さん



グループホーム悠祐 山田和彦さん



訪問介護 廣野里佳さん

教えて Caco先生

秋の「肌トラブル」に注意!

秋はその心地よさとは裏腹に、イヤな肌トラブルが起きやすい条件も揃っています。予防や対処法などをお伝えします。



医療法人祐基会
帯山中央病院
理事長/漢方専門医
渡邊 賀子

【「光老化」の原因になる紫外線】

酷暑の夏を乗り越え、温度も湿度も下がってホッと秋ですが、空気の乾燥や夏場に浴びた強い紫外線の影響などで、皮膚の乾燥をはじめとする肌トラブルに悩む人が増える時季です。

紫外線は日焼けのほか、シミやしわなど「光老化」の原因になってしまいます。紫外線を浴びやすい顔にはシミやしわが多いのに、日に当たらないお腹などが高齢になっても白く柔らかいのは、加齢による老化と光老化の違いです。

日頃から日焼け止めクリームを塗って紫外線から肌を守り、化粧水やクリームなどでしっかり保湿をしましょう。

【ビタミンA・Cを豊富に含む食材を】

肌トラブルの際、積極的に摂りたい栄養素の代表は「ビタミンA」と「ビタミンC」。ビタミンAは抗酸化作用が強く、皮膚や粘膜・目の健康を維持するために不可欠なビタミンです。ビタミンCには、メラニン生成を抑制してシミを薄くしたり、皮膚の弾力を作るコラーゲンの生成を促進したりする効果があります。

ビタミンAを豊富に含むのは、ニンジンやニラなどの緑黄色野菜、レバー、鰻などがあります。また、ビタミンCが豊富な食材としては、パプリカ、トマト、キウイ、イチゴ、レモンなどがありますが、ビタミンCは熱に弱いので、野菜や果物から生のまま摂取するのがおすすめです。

【「皮膚は内臓の鏡」体全体で考えたい】

漢方医学では「皮膚は内臓の鏡」といわれます。シミや乾燥などの肌トラブルは体の内側に問題があるため、漢方薬で血めぐりを改善することで体全体に栄養が行き渡り、皮膚のターンオーバーを正常化して健康で美しい肌を取り戻せると考えられています。

生薬としては「ヨクイニン(ハト麦)」が代表的ですが、漢方薬では「桂枝茯苓丸(けいしぶくりょうがん)」や「当帰飲子(とうきいんし)」などが使われます。



気温の変化が大きい秋は、衣服で小まめに調節して体を冷やさないよう心がけ、血めぐりを整えましょう。



しあわせのおもてなし×専門職の記録

「おもてなし専記」

第10話 検査科・放射線科

医療法人祐基会にはさまざまな部門があります。そこには「しあわせのおもてなし」に努める専門スタッフがいます。今回は、検査科の笹原径子臨床検査技師と、放射線科の林田貴子診療放射線技師に話を聞きました。

正確なデータや画像の提供によって
医師の診断や治療をサポート。
健診業務で地域の皆さまの健康を守りたい

検査科

一検査科について教えてください。

尿・血液検査をはじめ心電図、血圧脈波、眼底、肺機能、聴力などの生理機能検査、また糖尿病関連の検査やウイルス検査など、さまざまな検査を行っています。正確なデータを提供することで、医師の診断のサポート役を担っています。

一業務で気を付けていることは?

検査情報の共有に努め、検査技師3人がすべての検査に対して臨機応変に対応できるよう心掛けています。また、患者さまに安心して検査を受けていただけるよう、検査の目的や方法を丁寧に説明しています。

一やりがいや今後の目標は?

データが改善し、元気なお姿を見られるのが大きな喜びです。検査機器の管理や正確なデータの提供が治療に直結することにやりがいを感じます。

生活習慣病の早期発見・治療を可能にする健康診断の意義をもっとお伝えし、健康診断業務に力を注ぎたいと思います。



下・左から検査科の前田みゆきさん、笹原径子さん、上・左から同科野口水里さん、放射線科の林田貴子さん



白内障や動脈硬化、糖尿病性網膜症などの病気が分かる「眼底検査」



血管の詰まり具合や硬さを調べる「血圧脈波検査」



CT検査の様子。身体の断面を撮影することで病気を発見したり状態を確認したりできる

放射線科

一放射線科の業務とは?

一般撮影、CT撮影などによって、病気やケガを早期発見・診断し、次の治療に役立てていく上で重要な検査を担っています。必要に応じて、病室や手術室でも撮影します。

一どんなことに気を付けていますか?

笑顔の挨拶、簡潔な説明、スムーズな検査。つまり自分が受けて心地よい検査を心掛けています。また、健診でのCT検査は健康な方が対象なので、通常の検査の1/3程度に被ばく線量を抑えています。

一やりがいや今後の展望を教えてください。

病気の原因が判断できる画像をしっかりと撮ることができ、それが医師の正確な診断につながったと感じた時にやりがいを感じます。

当院の健診を受けられる方が増え、より多くの地域の皆さまの健康を守るお手伝いできればうれしいです。

受付前でスタッフの皆さんと。右から3番目が澤幡佳孝院長



**明るく、笑顔で、元気に。
“おひさま”みたいに温かい
歯科医院でありたい**



健康を守り育てる歯科医療を

帯山中央病院のお隣さん「おひさま歯科クリニック」は、名前を表すような黄色の外観とロゴマークが印象的です。2013年に開院する際、「明るく、笑顔で、元気に」を大切にしたいと名付けましたと澤幡佳孝院長。

同院の特徴は、県では唯一、日本ヘルスケア歯科学会の厳しい審査を

合格した認証診療所であること。健康を守り育てる歯科医療を実践するために、関東で勤務医だった頃から学び準備して取得したそうです。澤幡院長は「予防歯科の視点では、メンテナンス自体が治療。根本的に口の環境を良くすることが大事です」。それだけに一人一人に時間をかけて検査・診療を行う



受付カウンターに置かれている一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会の認証状

**適切な歯磨きと
チェックが大事**

長寿社会になり、歯の健康の大切さがクローズアップされるなか「ケアの基本はやっぱり「歯磨き」と澤幡院長は話します。「自分の口の中に関心を持って、歯磨きを適切にしてください。それがきちんとできているかをチェックしにクリニックに来てほしいと思っています。歯科医院をもっと気軽に利用してほしいですね。高齢の方やベビーカー利用の方などに配慮して、2年前にエレベーターを設置。訪問診療も行っています。

必要があり、予約制になっています。

**地域の皆さまの
頼りになる存在に**



澤幡院長は関東で生まれ育ち、大学こそ長崎県で学んだものの熊本には親戚縁者など一人もいなかったそうです。それが縁あって熊本で開院する機会ができ、とてもうれしかったです。広々としたイメージの熊本には以前から憧れがありました。実際に住んでみると都市と自然のバランスが良く、ますます好きになりました。この地で開業して良かったと思います。今では地域の皆さんに呼ばれて講演したり、地域の行事に参加したり、親しくさせてもらっています。笑顔です。「おひさまみたいに温かい歯科医院として、地域の皆さまの頼りになる存在を目指します」と力強く話してくれました。

【取材を終えて】

太陽みたいに熱い院長先生のお話や、「見える」滅菌消毒室などにこだわりを感じ、「予防のために歯科医院に通いたい」と考えを改める良い機会になりました。これからは口の中にもっと関心を持ちたいと思います。(ヨコヤマ)

おひさま歯科クリニック
熊本県熊本市中央区帯山
4丁目3-18
TEL:096-213-8020
水曜・日曜・祝日休診



SDGsには17の目標があります。その中の3番「すべての人に健康と福祉を」に医療法人として取り組むのはもちろん、部署や個人それぞれに努力しています。

今回は、営繕職員の福崎敏和さんの活動を紹介します。



……【ごみの仕分け～再利用】

- ・医療機器で使用後の廃棄電池の残量を計り、使えるものは他部署での再利用へ。
- ・不要になった棚を分解し、必要な場所に新たな棚を作成。



【環境整備・コミュニケーション】

- ・防災意識の下、もしもの時を考えた小まめな片付け・清掃。
- ・作業時の、職員や地域の人たちへの気持ちの良い挨拶が親近感、信頼感に。



**医療法人祐基会は
SDGs 達成に向けて
取り組んでいます**

事業活動を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献し、持続可能な地域医療の実現に努めます。



医療法人祐基会は
熊本県SDGs登録事業者に
登録されました。



©2010熊本県くまモン

医療法人 祐基会
帯山中央病院

〒862-0924 熊本市中央区帯山4丁目5番18号
代表 **096-382-6111** 夜間休日 **096-382-6113**

交通アクセス・駐車場



地域包括ケア病床 20床
医療療養病床 56床
計76床

受付

平日 8:30 ~ 12:00 / 13:30 ~ 17:00
土曜 予約制 8:30 ~ 12:00

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	●	●	●	●	●	▲
14:00~17:30	●	●	●	●	●	—

⊕ 外来の診療科は曜日により異なります。担当医などの詳細は受付またはホームページにて。

診療科

内科 / 消化器内科 / 糖尿病内科 / 漢方内科
呼吸器内科 / 整形外科 / 疼痛緩和外来

入院のご相談

地域医療連携室
直通 096-382-6112
FAX 096-382-3773

介護のご相談

おびやま指定
居宅介護支援事業所
直通 096-382-6175

帯山中央病院ホームページ

<http://www.obiyama-ct.com/>

帯山中央病院

